

子どもの森通信

第3号 2007年4月
発行：特定非営利活動法人子どもの森
宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘2-2
事務局 TEL/FAX：050-3427-1102
Mail：office@kodomonomori.info
http://www.kodomonomori.info

「森林の再生活動」特集

台風で植林してあった杉が流された門川高等学校の演習林で、昨年よりはじめた「森林の再生活動」が、計7回の活動を経て3月25日で終了しました。自然環境の復元を図ることで、水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生を図る活動として、宮崎県森林環境税から活動資金の一部助成を受け、宮崎県とみやざき森づくりボランティア協議会の後援と門川高等学校の協力を得て実施をしました。

竹やかん木の伐採からはじめて、階段作り・筋置きの設置と地ごしらえ・竹やかん木の粉碎等を門川高校生や子どもの森会員・一般参加者で作業して、最後にケヤキ・イロハモミジ・ヤマザクラ・イチイガシを140本植樹し、「GOCANの森」と名づけました。今後は、門川高校生と一緒に、下草刈りを実施して植樹した木を育てていきます。また、展望台や歩道の設置、ドングリから育てた苗木の植樹等、環境啓発活動のフィールドとしても活用していく予定です。

「森林の再生活動」にボランティア参加していただいた44人（延べ88人）の皆さま、ありがとうございました。

第一回（12月9日）

参加者8人

森林環境税からの「森林づくり活動支援事業」で購入した十字鋤や鉋、鋸を使い、間伐してあって杉とかん木を活用して、山斜面を登るための階段（約30m位）を作りました。また、灌木などの撤去（細かく裁断する）作業もおこなっています。



けが防止のために最初にストレッチ体操。



高校生による階段作り。



重い倒木はロープで下まで引き下ろします。 わい WaiTV の取材がありました。



第二回（1月21日）

参加者12人

山斜面を登るための階段作りと粉碎機を使って、かん木や竹などのチップ化（細かく粉碎する）をしました。階段は、総延長約60mと延びて行き、全体像の70%位が終わりました。また、チップ化したかん木や竹は、作った階段に撒いて行きました。

（2月12日）参加者3人

山斜面に散乱している竹やかん木は、山斜面途中に筋置きを作り、そこに集めます。森の再生活動に入る前に、門川高校生で、竹やかん木等を伐採した時に作った筋置きが、小さかったため、すべての竹やかん木が片付けることが難しく、また活動を進めていくと、多くの倒木杉が山斜面に半分埋もれた状態にあることが解りました。そこで、竹やかん木、さらに倒木杉を片付けるための筋置きを延長する必要性が出てきました。山斜面の筋置き3箇所を延長しました。



第三回（2月18日）参加者11人

山斜面に散乱してある竹やかん木を山斜面の筋置きに集め、灌木や竹などのチップ化（細かく粉碎する）をしました。

(2月28日)参加者4人
 まだまだ多くの竹やかん木が
 山斜面に散乱しています。な
 かなか片付けることが困難で
 す。次の活動の前にできる限
 り、山斜面を整理するため、
 まだ片付けられていない竹や
 かん木や倒木杉を、筋置きに
 集めて行きました。今日もす
 べて片付けることができませ
 んでした。

台風で崩れた斜面なので、写
 真のような急勾配です。



第四回(3月21日)

参加者24人

ストレッチ体操後に、今日の作業の打ち合
 わせを行いました。最初に、まだ残っていた
 地ごしらえと斜面横方向に移動するた
 めの足場(簡単な歩道)を作っていました。
 樹木の種類ごとに色テープを付けて、
 約2mの間隔を取りながら立てていきま
 した。また、竹やかん木のチップ化と階段
 の延長作業も実施しました。



第三回は地ごしらえが中心でした。



最終回(3月25日)植樹



ケヤキ、ヤマザクラ、イロハモミジ、イチイガシの計140本を植樹しました。

記念プレートへの署名書き。

天気予報では、雨のち曇りだったので、
 植樹の開始を2時間遅らせて、11時か
 ら活動をスタートしました。参加者は、
 門川高校から13人、日向市ふるさとの
 自然を守る会から3人、一般参加者が3
 人、子どもの森から7人の計26人でした。

植樹する本数が140本と少なかったの
 と地ごしらえ等の事前準備がしっかりで
 きていたので、約1時間で植樹が終了し
 ました。参加者持参のおにぎりや用意
 した豚汁のお昼ご飯を食べて、午後1時
 に解散となりました。今後は、下草刈りや
 ベンチ設置等、高校生と一緒に森づくり
 活動の場となっていきます。



みなさん、おつかれさまでした。